



# 西部教育局からのお役立ち情報

## 今月のトピック紹介版

4月号



令和5年度 西部教育局学校教育担当の取組

令和5年度各種研修会・協議会等スケジュール表  
(令和5年4月現在)

組織で支える「絆づくり」と「居場所づくり」  
安心できる学級でスタートするために

～円滑な幼保小連携・接続をめざして～  
学校全体で育てよう「6年間の土台～スタートカリキュラムの共有～」

令和5年度 西部地区特別支援教育における  
専門性向上のための研修等について

特別支援学級における諸帳簿等について

～すべての児童生徒等の「わかった」「できた」を支えるチェックリスト～  
「基本のチェックポイント13」

西部地区特別支援学級 指導のチェックポイント  
～西部地区の子供たちの力をさらに高めるために～

西部教育局ホームページ

# 令和5年度 西部教育局学校教育担当の取組

## 学校

学校教育目標の達成(学校経営の充実)

## 連携・協力

## 市町村(学校組合)教育委員会

地域の特色を生かした学校づくり

幸せに生きるための、  
確かな学力と豊かな人間性、  
社会性を身に付けた子供

## 連携・協力

## 連携・協力

## 西部教育局学校教育担当

対象組織のニーズに応えるチーム支援  
相互の信頼関係の構築と情報の提供

学習指導要領の実施の充実に  
向けて、学校のニーズに応じた  
学校訪問・支援を行います。

マネジメントサイクルを意識し  
ながら各種事業・研修会等を  
効果的に実施し、対象組織の  
課題解決を支援します。

## 特別支援教育担当

一次支援の充実  
校内支援体制の更なる充実

### 【特別支援学級の目指す姿】

- 個に応じた適切な教育課程の編成と確実な実施
- 自立活動の正しい理解と実践
- 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成と効果的な活用

### 【通常学級の目指す姿】

- 個に応じた支援の検討と充実  
⇒LD等専門員による巡回相談(年2回)、依頼相談(随時)の実施
- 効果的な環境整備  
⇒LD等専門員による一次支援研修

連携・協力

### 【局の主な取組】

- ・特別支援教育主任や教務主任、市町村(学校組合)教育委員会指導主事を対象とした研修
- ・管理職を対象とした研修【新規】
- ・県立特別支援学校と連携した研修
- ・特別支援教育よろず相談会
- ・でかける西部教育局!(特別支援教育担当)【新規】

## 学力向上担当

全ての子供が  
「わかった」「できた」を実感できる授業

### 【学校の目指す授業・研究の姿】

- 本時で身に付けるべき指導事項が明確な授業
- 指導と評価の一体化が図られた授業
- 「めあて-まとめ・振り返り」の質の向上
- 全ての子供が学びを実感できる授業展開
- ミドルリーダーを活用した若手教員の育成
- 全ての教員が授業力向上に取り組む研究組織

### 【局の主な取組】

- ・各種研修会の開催
- ・島根大学との連携
- ・単元到達度評価問題
- ・B-PLAN問題
- ・若手教員派遣
- ・校内研究推進による授業力アップ事業

連携・協力

学習指導要領

めあて-まとめ・振り返りの  
質の向上と展開の充実

ICTの効果的  
活用

## 幼児教育担当

子供の育ちと学びを  
つなぐ円滑な接続

### 【園の目指す姿】

- 「遊びきる子ども」を育む保育の充実
- 園内研修の充実
- 園評価の改善

### 【小学校の目指す姿】

- 校区の幼保小連絡協議会の実施
- スタートカリキュラムの改善

連携・接続

架け橋期のカリキュラム 編成

### 【局の主な取組】

- ・幼稚園教諭・保育教諭・保育士等の合同研修会(3回)
- ・幼児教育センター各種研修会
- ・幼保小接続推進リーダー育成事業
- ・計画訪問、要請訪問
- ・幼保小接続アドバイザーの活用推進

## 生徒指導担当

組織で支える「絆づくり」と「居場所づくり」

### 【学校の目指す姿】

- 「楽しい」と実感できる魅力ある学校・学級づくり
- 児童生徒理解に基づく適切な支援
- 新たな不登校を生まないための早期発見・早期支援
- 積極的ないじめの認知による早期発見・早期対応
- 問題行動等の未然防止・組織対応

### 【局の主な取組】

- ・地域や学校のニーズにあった情報提供
- ・校内研修等への支援
- ・学級づくりや校内指導体制への助言

連携・協力

学級づくり

特別支援教育の視点

チーム対応

令和5年度 各種研修会・協議会等スケジュール表(令和5年4月現在)

西部教育局

月	日	研修会名等	会場
4月	4日 (火)	第1回スクールカウンセラー連絡協議会	米子コンベンションセンター
	13日 (木)	第1回学校生活適応支援員連絡協議会	ヴィルステひえづ
5月	16日 (火)	第1回西部地区公立学校研究主任等研修会及び情報交換会	各学校(オンライン)
6月	2日 (金)	幼保小接続推進リーダー育成事業 第1回連絡協議会	新日本海新聞社 中部本社ホール
	20日 (火)	学力向上研修会(小学校国語) 講師:大妻女子大学 樺山敏郎 教授	中部会場
	未定	西部地区特別支援教育連携協議会	西部総合事務所 又は各所属(オンライン)
7月	24日(月)~28日(金)	幼保小接続推進研修会①	オンライン
	下旬	西部地区講師研修会	西部総合事務所 又は各所属(オンライン)
	下旬	第1回西部地区教務主任等研修会(特別支援教育)	西部総合事務所 又は各所属(オンライン)
8月	1日 (火)	西部地区特別支援教育充実研修会	ヴィルステひえづ 及び各所属(オンライン)
	4日 (金)	学力向上研修会(小学校算数) 講師:文部科学省 笠井健一 教科調査官	中部会場
	8日 (火)	西部地区教務主任等研修会(学力向上)	西部総合事務所 又は各所属(オンライン)
	24日 (木)	幼児教育推進研究協議会(幼保小連携・接続)	中部会場
	28日 (月)	第1回幼稚園教諭・保育教諭・保育士等の合同研修会	
9月	28日 (木)	第2回幼稚園教諭・保育教諭・保育士等の合同研修会	米子コンベンションセンター
11月	20日 (月)	第3回幼稚園教諭・保育教諭・保育士等の合同研修会	
	27日 (月)	子どもが伸びる授業づくりプロジェクト 小学校国語科授業研究会 講師:大妻女子大学 樺山 敏郎 教授	境港市立渡小学校
12月	月上旬	第2回西部地区教務主任等研修会(特別支援教育)	西部総合事務所 又は各所属(オンライン)
2月	5日 (月)	幼保小接続推進研修会② 兼幼保小接続推進リーダー育成事業 第2回連絡協議会	鳥取県立福祉人材研修センター
	9日 (金)	第2回西部地区公立学校研究主任等研修会及び情報交換会	西部総合事務所 又は各所属(オンライン)
開催時期未定		西部地区特別支援教育主任研修会	西部総合事務所 又は各所属(オンライン)
		【西部教育局】学力向上研修会(小学校算数) 講師:文部科学省 笠井健一 教科調査官	西部地区
		【西部教育局】小学校算数科における授業力向上研修会 講師:秋田県大館市教育委員会教育研究所 米澤貴子 所長	西部地区
		【西部教育局】学力向上研修会(中学校国語) 講師:未定	西部地区
		【西部教育局】学力向上研修会(中学校数学) 講師:文部科学省 伊吹竜二 教科調査官	西部地区
		【西部教育局】学力向上研修会(中学校英語) 講師:未定	西部地区

★鳥取県教育課程研究集会 ⇒ 開催方法、日程については決まり次第御連絡します。

★中学校定期考査研修会 ⇒ 開催方法、日程については決まり次第御連絡します。

★西部地区人権・同和教育振興会議(4月の総会で決定)

⇒年2回開催予定(第1回は7月又は8月、第2回は11月)

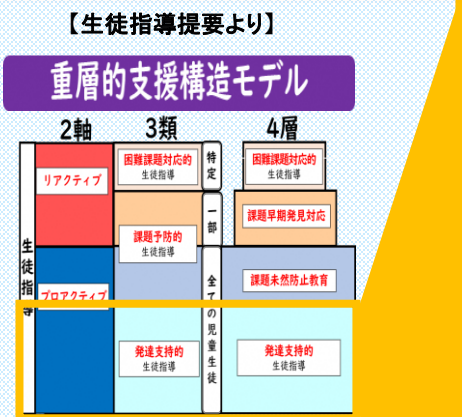


組織で支える「絆づくり」と「居場所づくり」  
**安心できる学級でスタートするために**

西部教育局  
 お役立ち情報  
 令和5年4月号

**年度当初の学級づくりのポイント**  
**子供をつなぐ、子供とつながる「みる」「きく」「認める」**

**取組① 教員と子供、子供同士の人間関係をつくる**



**具体例① 毎日、全ての子供との一會話を心がける**

- 朝、教室で出会ったとき、係の仕事に取り組む姿を見かけたとき提出物を持ってきたとき等、子供に温かい一声をかける。  
 (例)「〇〇さん、掃除を黙々と頑張ってたね」
- 昼休憩等に、教室内や体育館、校庭で子供たちと会話をする。
- 授業中の机間指導の際に、声をかける。  
 (例)「△△さん、分からないところはないかな」

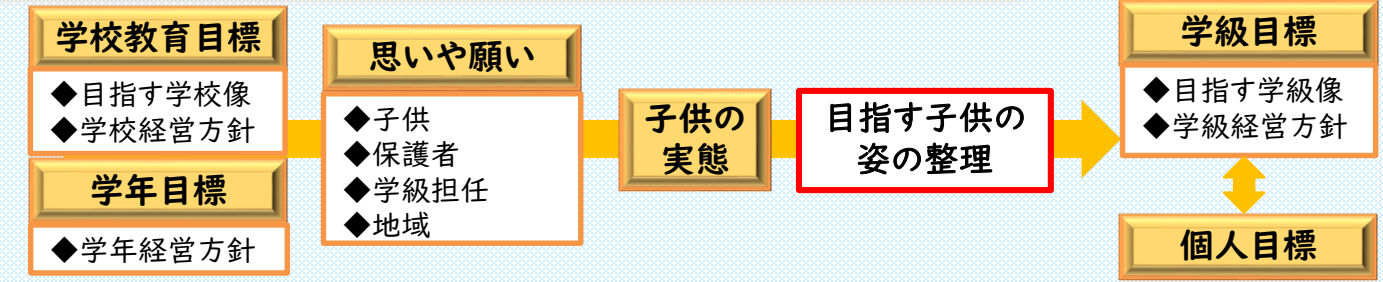
**具体例② 友達の気づき・発見を大切に、共有する**

- 感想や日記の中から、友達の気づきや発見等、心の動いた場面を取り上げて紹介する。
- よく発言する子供だけでなく、意図的な指名をする。
- グループワークトレーニング等を取り入れ、振り返りを通して友達の思いを共有する。

お役立ち令和5年2月号  
 「生徒指導の構造  
 『2軸3類4層』を  
 探る!」

教員と子供の良好な人間関係づくりは、**プロアクティブ**（課題が発生する前に常態的・先行的に行う生徒指導）の観点からも欠かせません。日々の教職員の子供への声かけや励ましに加えて、授業や行事等を通して個人や学級全体への働きかけが大切です。年度当初から意識して取り組みましょう。

**取組② 学級経営の目標を立てる(学級目標の設定)**



学級目標は、目指す学級の姿です。まずは、担任としてどのような子供を育てたいのかを考えましょう。その際に、一人一人の変化や個性を「みる」、子供が理想とするクラス像を「きく」、一人一人の思いを「認める」ことを大切にした多面的な見方で子供の実態を把握し、目指す子供の姿を整理していくことが大切です。

詳しくはココ！  
**学級びらきのポイントが終結!**



新学期スタートに向けて  
 ～子どもが生きる学級経営の在り方～  
 やまぐち総合教育支援センター 梶田崇晴 氏

鳥取県 学校教育支援サイト

check 新着情報

- 2023年2月20日 新学期スタートに向けて～子どもが生きる学級経営の在り方～
- 2023年2月17日 『ふっとりメンター方式実践報告書』について
- 2022年7月22日 令和4年度鳥取県教育支援センター(中学校個別支援学級)報告書

【掲載場所】  
 学校教育支援サイト

【掲載期間】  
 令和5年2月20日(月)  
 ～令和5年7月末日

【動画内容】(各編約20分)  
 (1)「学級経営の課題」編  
 (2)「学級開きの在り方」編  
 (3)「学級目標をつくる・活かす」編

# 学校全体で育てよう「6年間の土台～スタートカリキュラムの共有～」



学習指導要領が目指しているのは3rdステージのスタートカリキュラムです。  
自校のスタートカリキュラムは「今、どのステージか」チェック☑をしてみましょう。

check!

「教室の窓 低学年版(東京書籍)」より  
引用(一部加工)

## 1stステージ

**小1プロブレムの解消**  
を目指す。  
☐ 学校生活への適応指導  
中心

## 2ndステージ

**安心して学校生活を  
スタートすることを目指す。**  
☐ 園で経験した遊びや体験活動  
を活用  
☐ 学びやすい環境を構成  
(視覚支援等)  
☐ 出会いの楽しさを感じる活動  
の工夫

## 3rdステージ

### いきいきと学びに向かう

子供を目指す。  
☐ 弾力的な時間割の設定の工夫  
☐ 思いや願いを活かした生活科  
の探究活動を中心とした  
合科的・関連的指導  
☐ 幼児期の教育で育まれた資質  
能力(幼児期の終わりまでに  
育てほしい姿)をふまえた  
カリキュラム

幼児期において、自発的な活動としての遊びを通して育まれてきたことが、各教科等に円滑に接続され、**主体的に自己を発揮しながら学びに向かう**ことが可能になるようなスタートカリキュラムの充実が求められています。



スタートカリキュラムは1年生担任だけのものではありません。校内の共有はできていますか？学校全体で確認し、見守り育てる体制をつくりましょう。

### 【職員会等で】

☐ 自校のスタートカリキュラムで期待する子供の姿を確認する

(例) ・安心して自己を発揮する子供  
・みんなと楽しみながら関わり、好奇心をもつ子供  
・思いをふくらませ、考えを広げ、学びに夢中になる子供 等

☐ 教職員の「1年生への関わり」を確認する

スタートカリキュラムで期待する子供の姿を踏まえ、「主体的に自己を発揮しながら学びに向かうこと」が可能となるように関わりを工夫しましょう。

(例) すぐに教えるのではなく、子供の思いや今までの経験を聞くことで「考えること」を促します。

困っていることは  
なあに？

こんなとき、  
園ではどうしていたの？

どうしたらいいと思う？  
どうしたいの？

※定期的に子供の姿や指導の在り方を語り合しましょう

### 【始業式で・各クラスで】

☐ 在校生に「1年生への関わり」について投げかける

(例 6年生へ) かわいい1年生も、この前まで園の年長さんとしてがんばっていたんだよ。  
今は学校のやり方がわからなくて困っているだけかもしれないから、すぐに手伝うのではなく「どうしたの?」「何か困ってるの?」ってまずは話を聞いてみてあげて…  
そのあとで、どうしたら1年生が自分でできるかを一緒に考えてあげよう。

### 【学級だよりや懇談で】

☐ 保護者に「1年生が興味や関心をもって自ら学習に向かおうとする姿」をエピソードで伝える

スタートカリキュラムは6年間の学びの土台をつくる大切なものです。1年生が安心していきいきと学校校生活をスタートできるようにその意義、考え方、ねらいを学校全体で共有しましょう。

# 令和5年度 西部地区特別支援教育における専門性向上のための研修等について

西部教育局特別支援教育担当

「見取りの方法」や「支援の引き出し」を増やしましょう！



【特別支援学級新担任研修】  
5月12日、7月4日（教育センター職務研修）

【LD等専門員巡回相談・依頼相談】  
巡回…年間2回実施 依頼…随時  
 一次支援の充実に向けた助言  
 校内支援体制の更なる充実に向けた助言

子供たちの力を  
最大限に伸ばす

子供たちが「わかった」「できた」と実感  
できる教室環境とは？ 学習支援とは？

【西部地区特別支援教育連携協議会】（局主催）  
県立特別支援学校等について 6月に開催予定  
（鳥取盲学校、鳥取聾学校ひまわり分校、皆生養護学校、  
米子養護学校、琴の浦高等特別支援学校のコーディネーター、  
鳥取県「エール」発達障がい者支援センターと連携して実施）

【新任特別支援教育主任研修】  
5月26日（教育センター職務研修）

子供たちのために、  
私たちが「できること」、  
「しなければならないこと」を  
『チーム西部』で考え、  
確実に実行していきましょう！



特別支援教育主任(担当)

情報収集、助言等  
連絡調整等  
校内委員会の運営等  
必要とする  
機関との  
連絡調整等



担任 保護者  
学年団 養護教諭  
特別支援学級担任 等

校長 教頭 生徒指導担当  
教育相談担当 等

SC SSW 通級担当者 LD等専門員  
特別支援学校(特別支援教育コーディネーター)

医療 福祉 労働 その他関係機関等  
市町村(学校組合)教育委員会

<連携レベル>

- 学級** ← 一次支援の充実
- 関係教職員 ← 二次支援
- 校内委員会 ← 三次支援
- 校外の関係機関 ← 四次支援

図：支援の広がり「特別支援教育の手引き 鳥取県教育委員会 令和2年3月」より  
※ 令和4年3月改訂版を3月中旬に各学校にお届けしています。

【西部地区特別支援教育主任研修】（局主催）  
主任業務等について 学期1回程度の開催を予定  
※開催方法等、詳細については、別途通知します。

【西部地区特別支援教育充実研修会】（局主催）  
8月1日 午前：学校長対象 午後：希望者対象  
講師：文部科学省特別支援教育調査官

【西部地区教務主任等研修会】（局主催）  
第1回 特別支援学級の教育課程と教科用図書について  
7月下旬に開催予定  
第2回 個別の指導計画の作成と活用について  
12月上旬に開催予定  
※開催方法等、詳細については、別途通知します。

【西部地区市町村（学校組合）教育委員会  
特別支援教育担当者情報交換会】（局主催）  
4月21日、8月2日、12月15日

【特別支援教育よろず相談会】（局主催）  
年間20コマ開催予定

# 特別支援学級における諸帳簿等について

令和5年3月 西部教育局

## □指導要録（特に「指導に関する記録」について）

➤A様式（いわゆる数値評価）かB様式（いわゆる記述式評価）かを確認してください。

【A様式…小学校又は中学校に準ずる教育がほぼ可能である児童生徒の場合（下学年適用も含む）】

※下学年適用の場合 → 適用した学年の評価規準に基づいて評価し、評定を記載します。

→ 「総合所見及び指導上参考となる諸事項」の欄にその旨を記載します。

【B様式…知的障がいのある児童生徒が、知的障がい特別支援学校の教科等を取り入れて教育を行う場合】

## □出席簿・児童生徒名簿

## □就学支援関係書類

➤個人ファイルを作成し、過去の記録（経過）等が必要な時に確認できるようにしておきましょう。

□各市または西部町村就学支援委員会の審査資料（個人調査票、診断書、観察票 ←いわゆる3点セット）

□保護者の入級承諾書 □各市または西部町村就学支援委員会の審査結果

□各市町村（学校組合）教育委員会の就学決定通知 □校内就学支援委員会等の記録

※新就学児の就学決定通知は、申請した施設（園等）に届いています。当該教育委員会に確認し、写しを保存しておきましょう。

## □個別の教育支援計画

➤必ず作成してください。

・学校生活だけでなく家庭生活や地域での生活を含め、長期的な視点で幼児期から学校卒業後までの一貫した支援を行うために作成します。

## □各教科等の年間指導計画

➤必ず作成してください。

・児童生徒が履修している各教科、領域等のすべてのものを作成します。

※単元名だけの題材配当表とは異なります。

【当該学年に準じた学習の場合や下学年適用の場合】

・学習時期、単元名、目標、学習内容、評価規準等の欄を設けましょう。

【知的障がい特別支援学校の各教科等を選択する場合】

・学習時期、単元名、目標（付けたい力）、学習内容等の欄を設けましょう。

※自立活動の年間指導計画も必要です。

※各教科等を合わせた指導の形態（生活単元学習、作業学習など）を取り入れる場合も、その年間指導計画が必要となります。また、各教科等を合わせた指導を行う場合においても、合わせて指導する各教科等の目標に準拠した評価の観点による学習評価を行います。

※各教科等を合わせた指導を行う場合、授業時数を適切に定めることが大切です。関連する教科等を教科別に指導する場合の授業時数の合計と概ね一致するように計画する必要があります。

※自立活動や各教科等を合わせた指導については、1年間を見通した計画が年度当初に立てにくい場合があります。まずは、1学期分あるいは前期分を立てて、児童生徒の様子が変わってきてから、残りの計画を立てていく方法も有効です。また、指導内容等に変更があった場合は、見え消して修正しましょう。

➤各教科で採択されている教科書名を記載してください。

※適切に教科書を給与するために、児童生徒一人一人の「教科書給与リスト」等を別途作成しましょう。

個人ファイルに綴じた後、インデックスを付けると活用しやすくなり、業務改善にもつながります。



## □自立活動の個別の指導計画

➤必ず作成してください。

・自立活動の内容は、個々の児童生徒の実態に合わせて設定するため、個別の指導計画を作成します。

## □各教科等の個別の指導計画

➤必ず作成してください。

・当該学年及び下学年の学習を行う場合、年間指導計画に支援方法と評価の欄を追加し、記入していく形式でも可能です。

## 【参考通知等】

◇「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）」

平成31年3月29日付 30文科初第1845号 文部科学省初等中等教育局長

◇「小学校、中学校及び義務教育学校特別支援学級指導要録について（通知）」

令和2年3月26日付 第201900338485号 鳥取県教育委員会教育長

◇「特別支援学級における適切な教科書給与について（通知）」

平成30年10月31日付第201800209448号 鳥取県教育委員会事務局小中学校課長 特別支援教育課長

◇「特別支援学級で使用する教科書（一般図書）の無償給与に関する一部訂正について（依頼）」

令和3年9月2日付第202100137953号 鳥取県教育委員会教育長

◇「特別支援教育の手引」令和4年3月改訂 鳥取県教育委員会

◇西部教育局からのお役立ち情報「特別支援教育ほっと通信 指導要録の様式」令和5年2月 西部教育局



～すべての児童生徒等の「わかった」「できた」を支えるチェックリスト～

## 「基本のチェックポイント13」

鳥取県教育委員会事務局西部教育局

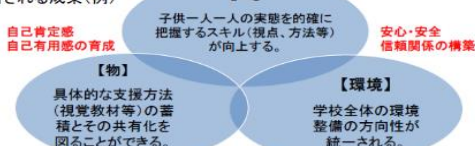
チェックポイント	
【人】 接し方	<input type="checkbox"/> 児童生徒等のよいところや強みをたくさん見つけましょう。 児童生徒等のやる気、指導・支援のヒントにつながります。
	<input type="checkbox"/> 担任が、一番身近な言語モデル、行動モデル、思考モデルになりましょう。 児童生徒等は担任の話す言葉やふるまいを真似ることが大好きです。
	<input type="checkbox"/> 「なぜ」の視点で、児童生徒等の言動の背景を探りましょう。 言動のみを評価せず、その背景（前後の出来事、発達段階、障がいの状態等）に目を向けます。
【物】 指導・支援	<input type="checkbox"/> 具体的な言葉で、一つずつ指示を伝えましょう。 「筆箱をもって、並んで図書室に行きましょう。」 →「今から図書室に行きます。」「筆箱を持ちましょう。」「廊下に出席順に並びましょう。」等
	<input type="checkbox"/> 具体物、写真、文字等で補い、わかりやすい指示や説明に心がけましょう。 例) 学習の流れを写真や絵で提示する。口頭指示を板書で伝える。
	<input type="checkbox"/> 1時間の授業のめあてと流れを明示しましょう。 児童生徒等にわかる言葉で、簡潔に示す配慮が必要です。
	<input type="checkbox"/> 活動の終わりはどこかを具体的に伝え、見通しをもって活動できるようにしましょう。 例) 「〇時〇分にはこの作業を終わります。」 「5枚プリントが終わったら、タブレットで振り返りをします。」等
	<input type="checkbox"/> 予定を提示するなど見通しをもたせ、自主性を高めましょう。 例) 月・週・1日の予定を示す。予定の変更時は口頭のみではなく、板書でも伝える。
	<input type="checkbox"/> スモールステップの課題を準備し、成功体験を積みませましょう。 「わかった」「できた」を実感させ、学びの確実な定着と意欲の向上を図ります。
【環境】 教室環境	<input type="checkbox"/> 場の構造化を図り、片付けの場所や道具の置き場所をわかりやすく示しましょう。 例) ロッカーの整頓の仕方を写真で示す。
	<input type="checkbox"/> ルールを明確にし、児童生徒等が自ら行動できるようにしましょう。 例) 学習中の正しい姿勢を写真や絵で示す。 「きくときのルール」「話すときのルール」等を確認できるように掲示する。
	<input type="checkbox"/> 視覚的な刺激(掲示物等)を整理し、集中しやすい環境を整えましょう。 例) 教室前面の掲示物を整理する。不要なものをカーテン等で覆う。
	<input type="checkbox"/> 聴覚的な刺激(教室内外の音等)が集中の妨げとならないよう配慮しましょう。 例) 指導時の声の大きさ、教室内の騒音、隣の教室の音等に配慮する。

### 特別支援教育の視点を取り入れた授業づくりの推進

自立と社会参加に向けて、全ての子供の持てる力を最大限まで高めるための個別最適な学びと、協働的な学びの実現

全ての子供が「わかった」「できた」と実感できる授業⇒学力の確実な定着

授業改善推進校において期待される成果(例)



文部科学省調査結果 令和4年12月  
知的発達に遅れはないものの学習面又は行動面で著しい困難を示すものとされた児童生徒の割合 約6.6%

小・中学校学習指導要領解説 平成29年  
学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫を組織的、計画的に行うこと。

◇児童生徒等の実態に応じて配慮の有無や程度は変わります。

◇上記のチェックポイントを意識しながら、各教科等の指導や日頃の関わりに留意しましょう。

◇児童生徒等によっては、障がい特性等に応じた配慮が必要です。また、複数の障がい等を併せ有している場合もあるため、主たる障がいだけでなく、併せ有する障がい等への配慮にも心がけましょう。

### 【参考資料】

まなびの支援ガイドブック 米子市教育委員会 平成22年12月  
特別支援教育の手引 鳥取県教育委員会 令和4年3月改訂



# 西部地区特別支援学級 指導のチェックポイント

令和3年3月作成版 西部教育局

～西部地区の子供たちの力をさらに高めるために～

◇弱視者		
1	<input type="checkbox"/>	歩行等の妨げになる物を、床面や頭上に置かないようにしている。
2	<input type="checkbox"/>	机の角や突起物には、カバーをする等、安全面に留意している。
3	<input type="checkbox"/>	適切な採光を確保している。
4	<input type="checkbox"/>	ロッカーや必要な道具には、聴覚や触覚を活用できるように工夫している。
5	<input type="checkbox"/>	どのような状態が見えにくいかを理解し、対象物自体を拡大する等、一人一人の見え方に適した教材・教具や学習環境を準備している。 (例) 文字等を拡大する。見えやすい色を使う。境界や輪郭をはっきりさせる。等
6	<input type="checkbox"/>	資料等はあらかじめ渡し、読む時間等を確保している。
7	<input type="checkbox"/>	指示代名詞(「あれ」「それ」「あそこ」「そこ」等)を使わず、具体的に話している。
◇難聴者		
1	<input type="checkbox"/>	生活や学習場面で騒音を軽減する工夫をしている。(例) 椅子の脚へのテニスボールの使用 等
2	<input type="checkbox"/>	コミュニケーションの取り方を工夫している。(例) 筆談、身振り、手話、指文字 等
3	<input type="checkbox"/>	きこえの状態に応じた学習形態や集団活動を工夫している。
4	<input type="checkbox"/>	聴覚活用に配慮している。(例) 補聴器等の装用・管理、音や言葉をきき取る指導 等
5	<input type="checkbox"/>	教科指導の中でも、言葉の理解や定着を意識した指導を行っている。
6	<input type="checkbox"/>	話の内容が確実に伝わったか、確かめる方法を工夫している。
7	<input type="checkbox"/>	曖昧な表現は避け、できるだけ具体的な言葉で指示をしている。
8	<input type="checkbox"/>	話し手の口元が見えるような位置で、ゆっくりはっきりとした口調で話している。
9	<input type="checkbox"/>	絵や写真、具体物、身振り、文字等の視覚的な手がかりを組み合わせ、聴覚からの情報を補いながら指導している。
◇知的障がい者		
1	<input type="checkbox"/>	具体的な言葉で話したり、指示を1つずつ伝えたりすることで、「わかった」「できた」という気持ちをもたせる指導に心がけ、成功体験を積み重ねている。
2	<input type="checkbox"/>	ねらいを達成できるよう、スモールステップの指導に心がけている。
3	<input type="checkbox"/>	本人の理解やスピードに合わせて指導したり、課題や活動の量を調整したりしている。
4	<input type="checkbox"/>	見通しをもたせるために、わかりやすいヒントや教材・教具を用意している。
5	<input type="checkbox"/>	学年相応の言葉遣いや対応を行っている。
6	<input type="checkbox"/>	身辺自立や社会生活に必要な知識、技能及び態度が身に付くよう、生活に結び付いた実地的で具体的な学習を行っている。

◇肢体不自由者		
1	<input type="checkbox"/>	車椅子や歩行等での移動に障がいとなる物を置かないようにしている。
2	<input type="checkbox"/>	できる限り段差がない環境を整えている。
3	<input type="checkbox"/>	安定した姿勢が保持できるように、机や椅子の位置や高さ等に注意している。
4	<input type="checkbox"/>	経験不足を補うための実際的な体験活動を取り入れている。
5	<input type="checkbox"/>	指導の効果を高めるために、補助用具やコミュニケーション支援のための機器等を活用している。
6	<input type="checkbox"/>	自立活動の時間を中心に、身体の動きに関する指導を計画的に行っている。
◇病弱者及び身体虚弱者		
1	<input type="checkbox"/>	学力や学習空白、健康状態、心理状態等を考慮して、学習時間を設定している。
2	<input type="checkbox"/>	自分の病気に対する正しい知識や管理していく技能、意欲を育てるような指導が行われている。
3	<input type="checkbox"/>	学習活動、休憩等を効果的に使用できるように、畳やソフトマット等で作られたスペースを設けている。
4	<input type="checkbox"/>	経験の偏りが見られる場合が多いため、活動が負担過重にならないように注意しながら、直接的な体験を含んだ学習を取り入れている。
5	<input type="checkbox"/>	コンピューター等の情報機器を積極的に活用し、間接的な経験を含んだ学習を取り入れている。
◇自閉症・情緒障がい者		
1	<input type="checkbox"/>	刺激となるものを整理したり、場の構造化を図ったりして、集中しやすい環境を整えている。 (例) 教室の全面の掲示を減らす。本棚など気が散りやすい場所にカーテンをつける。等
2	<input type="checkbox"/>	片付けの場所や道具の置き場所をわかりやすく示している。 (例) 名前シールを貼る。片付け方の写真を貼る。等
3	<input type="checkbox"/>	1日の流れや活動の流れをスケジュールとして提示したり、作業の手順表を活用したりする等、見通しがもてるような工夫をしている。
4	<input type="checkbox"/>	「いつ終わるのか」「どこまですれば終わるのか」を示し、見通しをもたせている。
5	<input type="checkbox"/>	指示は、具体物を使ったり黒板に書いたりする等、視覚的な情報を合わせながら具体的に出している。
6	<input type="checkbox"/>	予定に変更がある場合は、混乱しないようにわかりやすい方法で早めに伝えている。
◇言語障がい者		
1	<input type="checkbox"/>	話す意欲を高め、主体的に学習に取り組むための工夫をしている。 (例) 自然な状況で話すことができる学習場面の設定、周囲の子供たちへの理解と啓発
2	<input type="checkbox"/>	子供の話し方等の小さな変化を見逃さず、ほめて認めている。
3	<input type="checkbox"/>	発音やリズム等の障がいの状況に応じた指導内容・方法を工夫している。 (例) 外部専門家(言語聴覚士・言語通級担当者・県立特支特別支援コーディネーター等)との連携
4	<input type="checkbox"/>	体験を通じた学習や遊びを取り入れたり、興味・関心をもって取り組める教材・教具等を工夫して、ことばの発達を促している。
5	<input type="checkbox"/>	保護者や教職員に配慮事項を丁寧に説明し、連携を図っている。

# 西部教育局ホームページ

検索

http://www.pref.tottori.lg.jp/seibukyoiku/



Tottori Prefecture Web Site

テーマでさがす 県の紹介

現在の位置: ホーム > 県の組織と仕事 > 教育委員会

- 西部教育局
  - トップページ
  - 西部教育局のミッション
  - 組織・事務分担
  - 所在地・アクセス
- 西部教育局の取組み
  - 西部教育局からのお役立ち情報
  - 学校経営・運営・校内授業研究
  - 生涯学習の推進
- その他
  - 臨時教職員募集
  - 西部地区市町村(学校組合)教育委員会及び学校一覧

旬な情報を発信しています。是非アクセスしてみてください。



## 西部教育局

### 新着情報

- 西部教育局からのお役立ち情報【令和4年度3月号】を掲載、【カテゴリ別】を更新しました
- 西部教育局からのお役立ち情報【令和4年度2月号】を掲載、【カテゴリ別】を更新しました
- 西部教育局からのお役立ち情報【令和4年度1月号】を掲載、【カテゴリ別】を更新しました
- 西部教育局からのお役立ち情報【令和4年度12月号】を掲載、【カテゴリ別】を更新しました
- 西部教育局からのお役立ち情報【令和4年度11月号】を掲載、【カテゴリ別】を更新しました
- 西部教育局からのお役立ち情報【令和4年度10月号】を掲載、【カテゴリ別】を更新しました

## 西部教育局

西部教育局は、米子市・境港市・西伯郡・日野郡の各市町村教育委員会と連携しながら、学校教育の充実及び生涯学習の推進に取り組みます。

### とっとりの授業改革 10の視点

鳥取県の子どもたちが、さらに伸びていくための  
とっとりの 授業改革【10の視点】

### リーフレット



特別支援学校における授業づくりのリーフレット(前半)  
特別支援学校における授業づくりのリーフレット(後半)

## とっとりの授業改革【10の視点】

主体的・対話的で深い学びの実現に向けて

みんなで創ろう! とっとりの学び

鳥取県の子どもたちが、さらに伸びていくための

とっとりの 授業改革【10の視点】

### 知的好奇心の喚起

- 魅力的な課題・教材の提示
  - 自ら問いを見出し、調べてみたい、みんなで考えてみたい課題や教材を提示する
  - 学習への見通しを持たせる
- 体験的な学習の充実
  - これまで学んだことつながりを意識させる
  - 地域の人・もの・ことなど日常生活とのつながりを意識させる
  - 具体物や視覚教材を使用する
  - 実験や作業を取り入れる

### 活用する力を育てる言語活動と学習評価

- 資料の活用
  - 問題解決に必要な資料を使って調べたり、考えたりする学習を設定する
  - 考えの形成のために情報を精査させる
- 思考の整理
  - 調べたことやわかったことをノートに書かせる
  - 問題の解き方や考え方をノートに書かせる
- 説明・発表の機会の充実
  - 考え方や理由を筋道立てて説明する学習活動を設定する
- 学び合う活動の充実
  - ねらいをはっきりさせ、新しい考えを、みんなで生み出す活動を設定する
  - 考えを広げたり深めたりする活動を設定する
  - 意見交換や議論の場を設定する

指導と評価の一体化

7 学習評価の推進

- 一人一人の学習状況や実現状況を把握する
- 個に応じた手立てや支援を行う

### 次につながる振り返り

- 学習を振り返る活動の設定
  - 「振り返り」の時間を設定し、達成感・成就感を味わわせる
  - 次の学習の課題やポイントがつかめるよう工夫する
- 家庭学習と連動した学びの定着
  - 学校で学んだことが家庭での復習や予習および自主的な学習につながるような支援に努める

10 落ち着いてのびのびと学べる環境づくり(学びの集団・人間関係づくり)

## 校内授業研究充実のためのポイント

### とっとりの授業研究 10の視点

西部地区小・中・特別支援学校の校内授業研究の現状はどうか? ----- 1

なぜ校内授業研究の充実が求められるのですか? ----- 2

校内授業研究は、どのようにスタートしますか? ----- 3

校内授業研究に PDCA サイクルをどう生かしますか? ----- 4

校内授業研究において、教職員一人一人にどのようなことが求められますか? ----- 5

授業研究会を共に学ぶとすることには、どのようにしたらよいですか? ----- 6, 7

授業研究会の学びを日々の授業に生かすには、どのようにしたらよいですか? ----- 8

校内授業研究充実のためのポイント ----- 9

### 校内授業研究は、どのようにスタートしますか?

自校の現状を把握することが、授業研究の第一歩を踏み出すことです。「データをもとに自校の授業実践の現状を明確にする」「自校実践している授業の現状把握を行う」ということ、現状の問題点や未だ改善したいという思いを全教職員で共有することが、授業研究に意欲を燃かし、積極的に関与する動機を醸成する生み出すのです。

#### 研究課題を見いだすための2つの作業

- 子どもの実態に即した率直な意見交換
 

校内授業研究は、子どもの実態から出発するということを知ります。とりわけ学習面についての子どものよきと課題を具体的に分析し、共有することが大切です。また、なぜその課題が生じているのかという背景の部分や、到達点をどうにかといった点についても全教職員で話し合うことを通して、子どもたちの抱える課題がどこにある、どう改善したいのかを明らかにしていくことが授業研究の第一歩を生み出すことにつながります。
- 日頃実施している授業の現状把握
 

子どもが現状の大半は、自校実践している授業の現状に依存していると仮定します。また、子どもの抱える学習面について、授業の改善は授業を通して行うことになるので、授業がどのようなものかを把握することが大切です。

まずは、各自が丁寧に授業記録を記したり、子どもへの授業アンケートを行ったりすることで、課題を明らかにします。その後全教職員で話し合う中で共通点を見だし、みんなで力を合わせ、ともに先生方と取り組むことにつながる研究課題づくりへとつながっていきます。

#### 校内授業研究のスタート(例)

児童生徒の実態把握  
日頃実施している授業の現状把握

課題の焦点化

目標・授業像の共有

研究計画の検討(主題・仮説・組織・評価計画)

【水泳部での紹介】	
実施のめざす	期待する成果
実施日	3月9日(金) 午前10時～11時
実施場所	水泳部
実施者	水泳部
実施内容	水泳部での授業実践
実施後	水泳部での授業実践

## 特別支援学級における授業づくり

### 特別支援学級における授業づくり

持っている力を最大限に発揮して  
自ら伸びようとする子どもの育成のために

#### もくじ

1. 特別支援学級で学ぶこととは、どのようなことでしょうか？・・・P.1
2. 特別支援学級担任は、授業づくりでどのようなことに奮っているのでしょうか？・・・P.2
3. 特別支援学級に求められている授業とは、どのような授業なのでしょうか？・・・P.3
4. よりよい授業づくりのための、どのように子どもの実態把握をすればよいのでしょうか？・・・P.5
5. 子どもが身に付けなければならない力を授業に身に付け、主体的に学ぶ授業とはどのような授業なのでしょうか？
- 実践例Ⅰ 国語 小学校知的障がい学級・・・P.6
- 実践例Ⅱ 算数 小学校知的障がい学級・・・P.8
- 実践例Ⅲ 算数 小学校知的障がい学級・・・P.10
- 実践例Ⅳ 学習活動(2) 中学校知的障がい学級・・・P.12
6. 交流及び共同学習のねらいとポイントは、どのようなことでしょうか？・・・P.14
7. 特別支援学級の授業づくりを推進する体制の整備として、どのようなことが必要なのでしょうか？・・・P.15
8. 授業づくりで苦労した時は、どこに、どのように相談すればよいのでしょうか？・・・P.16
9. 特別支援学級担任の先生へのメッセージ (P.17引用・参考文献)

### 5. 実践例Ⅰ 国語 小学校知的障がい学級

1. 単元名 「読むってなに? Book」を作り、1学期に読むよ。～本の中の大事な言葉を探し出すよ～  
2. 単元の目標  
3. 単元の概観 (全学時数)  
4. 本単元の学習 (学習時数)  
5. 単元の学習活動

### リーフレット

校内授業研究 充実のためのポイント  
特別支援学級における授業づくり  
教師として大切にしたいこと

特別支援学級における授業づくりリーフレット(前)  
特別支援学級における授業づくりリーフレット(後半)

## 教師として大切にしたいこと

### もくじ

- 子どもを伸ばす先生とは
- 「見る」
  - 〇見ることとは、子どもに安心感を与え、力を高める第一歩
  - 一人一人を「見る」
  - 子どもを「見る」
- 「聞く」
  - 〇聞くこととは、子どもの個性性を養う第一歩
  - 子どもを「聞く」
  - 子どもの声を聞き取る
- 「認める」
  - 〇認めることとは、子どもの意欲を育てる第一歩
  - 子どものがんばりや無言に目を向ける
  - 一人一人のよさを認める
  - 多様な方法を認める
- 若手教師のための学級づくり
- 〇「見る」「聞く」「認める」
- 〇ここまではやってください1月の学級づくり
- 学級づくり
- 4月の学級づくり

### 「見る 聞く 認める」を大切にしたい学級づくり

子どもを伸ばす先生とは  
「見る 聞く 認める」を大切にしたい学級づくり  
出会いの「見る 聞く 認める」

## 西部教育局からのお役立ち情報

- ### 西部教育局からのお役立ち情報
- 3月号 (PDF: 3.68 KB)
  - 2月号 (PDF: 3.64 KB)
  - 1月号 (PDF: 3.38 KB)
  - 12月号 (PDF: 2.13 KB)
  - 11月号 (PDF: 3.97 KB)
  - 10月号 (PDF: 2.80 KB)
  - 9月号 (PDF: 2.89 KB)
- ### 令和4年度 西部教育局ビジョン
- 令和4年度 西部教育局学校教育担当の取組 (PDF: 6.47 KB)
- ### 令和4年度 各教科等
- 職員室のみんで考える 教職員の人材育成～学校組織づくりを充実させ個人成長につなげる～ (PDF: 6.09 KB)
  - 全国学力・学習状況調査問題より記述問題・S・S (スーパーセレクト) 版を配信します! (PDF: 8.10 KB)

月別とカテゴリ別にPDFで公開しています。  
バックナンバーも公開していますので、ご覧ください。

### 新着情報

- 西部教育局からのお役立ち情報【令和4年度3月号】を掲載、【カテゴリ別】を更新しました
- 西部教育局からのお役立ち情報【令和4年度2月号】を掲載、【カテゴリ別】を更新しました
- 西部教育局からのお役立ち情報【令和4年度1月号】を掲載、【カテゴリ別】を更新しました

お役立ち情報及び各リーフレットは、すべてPDFで公開しています。  
必要に応じてダウンロードや印刷をして御活用ください。

鳥取県のホームページ内に西部教育局のページが作られています。

